

動物生命薬科学科

野生動物

教育プログラム

九州保健福祉大学薬学部 動物生命薬科学科

対象学生：野生動物学に興味のある、動物生命薬科学科学生（希望制）

プログラム内容

1年次生から毎月定例のプログラムを設け、野生動物学の基礎知識を身に付けるための授業と、大学近辺で可能な野外調査を行います。さらに年に1回、九州山地で宿泊実習を行い、野生動物調査方法の基本と生息調査活動を実施します。

お問い合わせ先 〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町 1714-1

九州保健福祉大学入試広報室 <http://www.phoenix.ac.jp/>

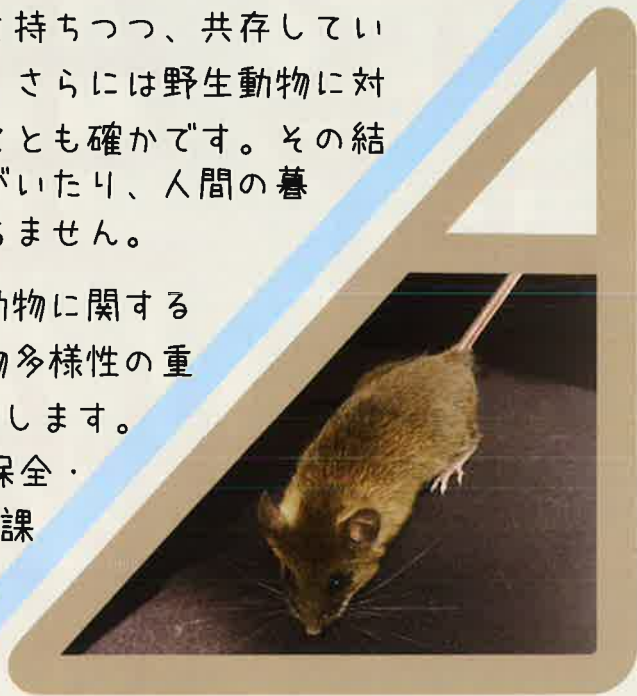


0120-24-2447, e-mail : kouhou@phoenix.ac.jp

野生動物教育プログラムの目的

地球上には多くの生物が相互に関係を持ちつつ、共存しています。われわれ人間もその一員ですが、さらには野生動物に対して多かれ少なかれ影響を与えていることも確かです。その結果、絶滅の危機に直面してしまった種がいたり、人間の暮らしをおびやかす獣害の問題も後を絶ちません。

動物生命薬科学科ではこうした野生動物に関するプログラムを通じ、希望者を対象に生物多様性の重要性、人間と野生動物との関わりを理解します。これによって野生動物の生理・生態や保全・管理の基礎を身に付け、「薬」を通じた課題の解決方法へ進むことを目指します。



プログラムの内容

野生動物学 研究会	月1～2回	<ul style="list-style-type: none"> 野生動物の保全・管理に関する事例研究 動物の比較生理・生態・行動学に関する演習など
野生動物学 実習	年1回の宿泊実習 (宮崎県内)	<ul style="list-style-type: none"> 小型野生動物の生息調査 野生動物の痕跡・生息環境調査(糞、足跡、食痕、植生など)方法の学習と実践 センサーカメラを使った中型哺乳動物(タヌキ、アナグマなど)の観測方法の学習と実践 野鳥観察など
動物生理・生態学研究室 (正木研究室)	3・4年次	より応用的な野生動物研究を実践できるように、専門的な学習を行う。

下記のような自然環境保全や野生動物に関わる仕事を目指す人には必要な知識と技術です。

例)

動物園や自然史系博物館・環境学習施設・環境アセスメント関連の調査会社・国家公務員：自然保護官(レンジャー)などを目指す人

担当する教員の専門
 ・野生動物の冬眠研究が専門。科学雑誌『ニュートン』にも登場しました。(正木美佳)
 ・動物園で動物の飼育・環境調査会社で野生動物の調査を行っていました。(宮内亜宜)
 ・博物館学が専門です。調査記録の保存や教育活動を行います。(山内利秋)

